



ペトロ

シリーズ～弟子道～

2011/4/3

行動的だがそそっかしいリーダー

- アンデレに紹介され、イエス様の弟子となる
 - 漁師であったが、網を捨てイエス様に従う
 - 妻帯者であった(姑を癒していただいた)
- リーダー的存在で、イエス様の近くにいた
 - 特別な癒し、変貌山、ゲツセマネ
- 行動的だが失敗も多かった
 - 水の上を歩こうとしておぼれかけた
 - イエス様をメシアと告白したが、受難の予告をいさめ、厳しくしかられた

3度の受難予告<ルカ18:31-34>

イエスは、十二人を呼び寄せて言われた。「今、わたしたちはエルサレムへ上って行く。人の子について預言者が書いたことはみな実現する。人の子は異邦人に引き渡されて、侮辱され、乱暴な仕打ちを受け、唾をかけられる。彼らは人の子を、鞭打ってから殺す。そして、人の子は三日目に復活する。」十二人はこれらのことが何も分からなかった。彼らにはこの言葉の意味が隠されていて、イエスの言われたことが理解できなかつたのである。

裏切りの予告 <マルコ14:27-31 >

イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたは皆わたしにつまずく。…しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」するとペトロが、「たとえ、みんながつまずいても、わたしはつまずきません」と言った。イエスは言われた。「はっきり言っておくが、あなたは、今日、今夜、鶏が二度鳴く前に、三度わたしのことを知らないと言うだろう。」ペトロは力を込めて言い張った。「**たとえ、御一緒に死なねばならなくなっても、あなたのことを知らないなどとは決して申しません。**」

大失敗 < マタイ26:57-58, 69-75 >

人々はイエスを捕らえると、大祭司カイアファのところへ連れて行った。そこには、律法学者たちや長老たちが集まっていた。ペトロは遠く離れてイエスに従い、大祭司の屋敷の中庭まで行き、事の成り行きを見ようと、中に入って、下役たちと一緒に座っていた。

ペトロは外にいて中庭に座っていた。そこへ一人の女中が近寄って来て、「あなたもガリラヤのイエスと一緒にいた」と言った。ペトロは皆の前でそれを打ち消して、「何のことを言っているのか、わたしには分からない」と言った。

大失敗 <マルコ14:27-31 >

ペトロが門の方に行くと、ほかの女中が彼に目を留め、居合わせた人々に、「この人はナザレのイエスと一緒にいました」と言った。そこで、ペトロは再び、「そんな人は知らない」と誓って打ち消した。

しばらくして、そこにいた人々が近寄って来てペトロに言った。「確かに、お前もあの連中の仲間だ。言葉遣いでそれが分かる。」そのとき、ペトロは呪いの言葉さえ口にしながら、「そんな人は知らない」と誓い始めた。するとすぐ、鶏が鳴いた。ペトロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」と言われたイエスの言葉を思い出した。そして外に出て、激しく泣いた。

ペトロに学ぶべき事

○ ペトロの誤解

- イエス様はやがてイスラエルの王となり、自分も出世できると思っていた
- まさかイエス様が殺されるとは思っていなかった

○ ペトロの良いところ

- 他の弟子は逃げたが、彼は最高法院まで行った
- 自分の失敗を認め、悔い改めたこと
- 自分の失敗を包み隠さず語り続けたこと

イエス様の教育

- 弟子，一人一人のために教育のプログラムを用意しておられる
 - 失敗の予告は，ペトロを立ち直らせるためではなかっただろうか
- 弟子の失敗を赦し，贖って下さる
 - ペトロの罪をも背負って十字架にかけられた
- 失敗さえも用いて弟子を育てて下さる
 - 私たちも一人のペトロである